

事務事業名		スクールバス整備事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課			
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	教育総務・給食G	課長名	福間 央			
	施策名	(27)学校教育の充実		担当者名	常松圭子	電話番号	0854-40-1071 (内線) 2273			
	目的:対象	小学校の児童・中学校の生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。						
	基本事業名	(084)学校の施設・設備の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的:対象	児童・生徒	意図	充実した教育施設・設備で学ぶ。				015001	01	中事業	中事業名
					051502	2	中事業名	スクールバス整備事業		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
老朽化したバスの更新を計画的に行う
実施計画 平成30年~ 年1台/更新

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)			
		スクールバス購入 1台	スクールバス購入 1台			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア スクールバス購入台数	台	4	0	1	1
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	遠距離通学の地域の児童生徒	ア スクールバス等利用者数	人	250	250	256	250
		イ 市民バス利用者数	人	276	270	270	270
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
遠距離を安全に通学できる。	ア スクールバス購入台数	台	4	0	1	1	
	イ						
	ウ						
	エ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)	
備品購入費 7,677千円	財源内訳	国庫支出金	千円	11,090		3,680	2,500
需用費 283千円		県支出金	千円				
役務費 233千円		地方債	千円	16,200		4,100	6,500
公課費 7千円		その他	千円				
		一般財源	千円	1,896	0	420	566
国庫補助(へき地児童生徒援助費等補助金)	事業費計(A)	千円	29,186		8,200	9,566	
辺地債、過疎債(スクールバス整備事業債)	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	200	20	20	
		人件費計(B)	千円	793	82	87	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,979	82	8,287		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
バス購入は、国庫補助等を利用し実施している。車両更新の際は、児童数減少も考慮し車両の小型化を行う。	廃校となる学校区児童生徒を安全な通学確保のため、スクールバスを配置して遠距離通学の困難解消を図る。すでに配置しているバスについて計画的な更新を行う。	安全な通学確保のため、スクールバス配置の要望がある。

事務事業名	スクールバス整備事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	適正規模適正配置を進める中で、必要な車両確保を図るものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	遠距離通学を強いられる児童の交通手段が確保できなくなるばかりか、安全な通学を保証できなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		適正規模適正配置により閉校となった校区の児童・生徒の通学のためには、必要で他に手段はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		入札による適正価格での購入・整備である。
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要最小限の対応による整備としている。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		入札による公平な整備をしている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 通学の手段を適正な価格によって整備できた。	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
通学人数によりバスの規格を決定するが、整備手順・方法は適切である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			